

管内小規模採卵鶏農場における農場 HACCP システム構築の取組（第 1 報）

山城家畜保健衛生所

○中川一樹 森田誠

【はじめに】管内 6,000 羽規模の採卵鶏農場が事業継承を機に農場 HACCP 認証取得を検討。当該農場は都市近郊に位置し、家族経営で築 40 年の鶏舎を有する。取組開始時には農場に立ち入る人や車両等の動線が複雑で、現場に即した衛生管理への見直しが必要。そこで、関係機関と協力して農場独自の農場 HACCP システム構築を支援。【取組の概要】①一般的衛生管理プログラムの構築：農場内の全作業について作業分析シートを作成し衛生管理対策を規定。さらに、衛生管理区域内の清浄度区分を明確化し、動線を整理。これらをもとに一般的衛生管理プログラムを構築し、令和 4 年 12 月、農場 HACCP 推進農場に指定。②農場 HACCP 計画の作成と実践：危害要因分析を実施、「集卵」を必須管理点（CCP）に設定した農場 HACCP 計画を作成。出荷卵への破卵・滞留卵の混入を防止する管理体制を整備。③従業員教育の実施：農場指導員と当所職員による研修会を開催し、従業員の衛生対策への意識が向上。④現場に即した衛生管理システムの整備：内部監査で衛生管理区域境界での車両対策強化が必要と確認。現場で実施しやすい消毒方法を協議した結果、車両消毒マットを設置する等、衛生水準が段階的に向上。【今後の展望】引き続き農場 HACCP システムを活用して PDCA サイクルによる更なる衛生管理水準の向上を図り、認証取得を目指すとともに、小規模農場での農場 HACCP システム構築のモデルとなるよう支援・指導を継続。